



ホーム > ニュース > 愛媛 > 愛媛 記事一覧

県と20市町が連携

知事「えひめ版応援金」創設を発表 中小企業に20万、個人事業主に10万

2021年4月27日(火) (愛媛新聞)

中村時広知事は27日、県と20市町が連携し、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う時短要請や外出自粛などの影響を受けた事業者向けに「えひめ版応援金」を創設すると発表した。要件を満たす県内の中小企業に20万円、個人事業主に10万円を支給する。県と各市町が2分の1ずつ負担し、市町によっては独自の上乗せや対象の拡充もある。

1～5月の任意の月の売り上げが前年か前々年の同月比で30%以上減少した事業者が対象で、感染対策に活用してもらおう。時短協力金の対象外となるテークアウト専門店や喫茶店などの飲食店のほか、スポーツジム、旅行代理店など業種は問わない。

時短要請を受けている飲食店や、「まん延防止等重点措置」が適用された松山市の時短要請対象飲食店の取引先で国から一時支援金を受け取る事業者は支給の対象外。

受付開始時期など詳細は決まり次第、各市町が公表する。

知事は「十分な支援とは言えないが、応援金を活用して感染防止対策を強化してほしい。全国知事会などを通じ、国に支援制度の拡充を求めていく」と話した。(森口睦月)

※新型コロナウイルス関連情報は[こちら](#)

